

業務用エアコン・チラーを 10年以上お使用の お客様は今すぐ 買い替えを 検討してください!!



理由

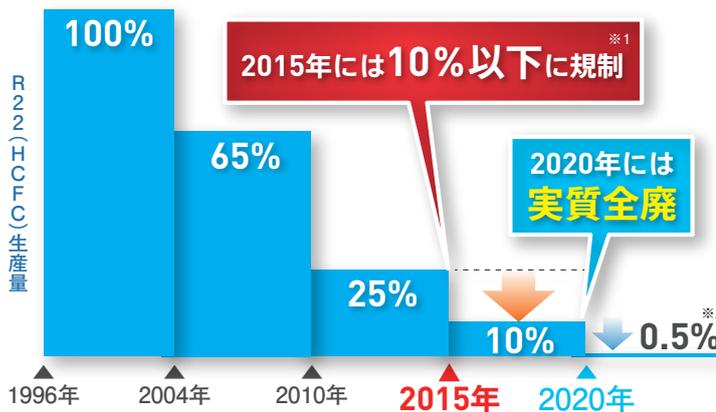
その1

そのエアコンはすぐに修理できなくなる 可能性があります!!

すぐに修理
できないと困る...

10年以上前のエアコンは、HCFC(R22)冷媒が主流。この冷媒には、オゾン層を破壊する成分が含まれているため、モントリオール議定書により世界的に規制がすすんでおり、2020年には実質全廃となります。そのため、入手困難や価格高騰によりエアコンが故障しても修理までに時間がかかる場合があります。

■R22(HCFC)冷媒生産枠の削減スケジュール



※1.1989年実績を基準として
※2.ただし、冷凍空調設備の補充用冷媒に限り、消費量の基準量の0.5%を上限として2029年まで生産が認められている。



R22(HCFC)
冷媒機器の
更新計画は
お早めに。

理由

その2

2015年4月、「フロン排出抑制法」が施行。 時代はより環境に配慮した製品へシフト。



2015年4月に冷媒に関する新しい法律が施行。より環境に配慮した製品を採用することが求められています。

理由

その3

ダイキンは店舗・オフィス用エアコン 全シリーズで新冷媒R32を採用!

ダイキン
only1^{※3}

ダイキンは地球温暖化係数が従来の1/3^{※4}の新冷媒R32を店舗・オフィス用エアコンの全シリーズに採用。

※3.2015年4月1日現在。※4.R140A冷媒と比較して。

さらに

15年間前の機種から
最新のエアコンに
更新すると

電気代約70%削減^{※5}

※5.当社試算:当社店舗・オフィス用エアコン インバーター機SZYCJ140KとSSRC140Bとの比較。更新前空調機がメンテナンスを行っていない場合の経年劣化(汚れ等)、1年間フィルター清掃しない場合の目詰まりによる電力量悪化を推定し試算したもの。SSRC140Bの消費電力量はEco全自動モード、OSCAR(オスカ)制御、フィルター自動清掃の効果を反映したもの。JIS B8616:2015(東京・店舗)に基づく「APF(2015)算出」における年間消費電力量の削減において。



ダイキンはお客さまのニーズに合う様々なエアコンをラインナップ

店舗・オフィス用エアコン

5つの価値を極めたハイグレードモデル

FIVE STAR
ZEAS

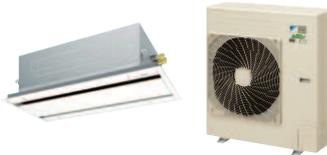


- インバーターエアコンからの更新でも最大約70%※1の省エネを実現。
- 全機種、新冷媒R32採用。
- 新冷媒R32対応の室内機を全12タイプラインナップ。

※1 当社試算:当社インバーター機SZYJ140KとSSRC140Bとの比較。更新前空調機がメンテナンスを行っていない場合の経年劣化(汚れ等)、1年間フィルター清掃しない場合の目詰まりによる電力量悪化を推定し試算したもの。SSRC140Bの消費電力量はEco全自動モード、OSCAR(オスカー)制御、フィルター自動清掃の効果を反映したもの。JIS B8616:2015(東京・店舗)に基づく「APF(2015)算出」における年間消費電力量の削減において。

さらに価値を高めたスタンダードモデル

Eco ZEAS



- 環境性能に優れた新冷媒R32採用。※P224・P28形除く。
- 2015年省エネ基準値クリア。
※天井埋込ダクト形(標準タイプ、高静圧タイプ)、マルチフロー(ショーケース)、大規模店舗用、床置形、厨房用エアコン除く。
- 「ダブルマイクロチャンネル熱交換器」採用で、室外機をコンパクト化。

ビル用マルチエアコン

革新的省エネ技術で年間運転効率を大幅に向上



- 業界トップクラスのAPFを実現!
8HP-5.8、10HP-5.6、12HP-6.0、14HP-5.7。*2
- 従来機より消費電力量最大約20%削減。*3
- 15年前のインバーター機と比べて最大約60%削減。*3

※2. APF(2015)の値で、算出条件はJRA4002:2013Rに基づきます。
※3. 算出条件:東京・事務所 運転時間(期間:冷房:4月19日~11月11日 暖房:12月3日~3月15日 時間:8:00~20:00稼働日数:6日/週) 新型機:RXUP280D(VRV Xシリーズ)と従来機:RXUP280CA(ビル用マルチVc-upLV高効率シリーズ)および当社15年前の同等機種との比較 すべて天井埋込カセット形4方向室内ユニットP140形×2台接続時

空冷チラー

六角形形状で連結時の高効率運転と省スペースを実現

ヘキサゴンモジュールチラー™



- IPLV6.2※4、COP3.84(30HP)の高効率機
- 2系統の冷媒回路で1系統故障時は自動バックアップ運転
- 高圧ガス保安法手続不要(各馬力法定冷凍トン20トン未満)

※4. JRA4062:2010「空調機熱源機の期間成績係数算出基準」に基づく。散水レス仕様にて算出。

設備投資の優遇減税を活用し“更新計画”はお早めに!

■「生産性向上設備投資促進税制」とは、所定の要件を満たす「先端設備」等を導入した際に受けられる税制措置。空調設備も対象です。

税制優遇の内容

法人税または所得税について、以下の通り優遇されます。

平成26年1月20日から平成28年3月31日まで

即時償却または税額控除5%

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

特別償却50%または税額控除4%

(注1) 税額控除を選択したときの控除額の上限は、設備を導入した期の法人税額または所得税額の20%です。控除しきれなかった金額を来期に繰り越すことはできません。

(注2) 同一の製品に対し、グリーン投資減税等、他の税制優遇との重複適用はできません。

(注3) 平成26年3月31日までに終了した事業年度(決算日が3月31日まで)に対象設備を取得して事業の用に供した場合は、翌年度に税制優遇が適用されます。

対象製品は必ずダイキン営業担当者にご確認ください。

※上記は対象商品一例ですが、上記シリーズでも全ての機種が対象となりません。

お問い合わせは